

SCSKがネットワークシステムズに対する公開買付けを開始—直ちに格付に影響せず

以下は、SCSK 株式会社（証券コード：9719）がネットワークシステムズ株式会社（証券コード：7518）に対して、経営統合に向けた公開買付けを実施することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- SCSKは11月6日、ネットワークシステムズとの経営統合に向け、同社の完全子会社化を目的として同社の普通株式などを公開買付けにより取得することを公表した。完全子会社化の完了後、26年4月を期日とする両社の合併も検討する予定である。当社は、本経営統合により、ネットワーク・セキュリティ・クラウドからデータ活用などのアプリケーションの提供までを一本化したデジタルサービスの展開など、様々なシナジー効果が期待できるとしている。
- 本公開買付けでは約3,600億円の資金負担が生じる見通しであり、そのうち約2,700億円は金融機関から借入を行う予定である。実現すれば、当社の財務構成は悪化するため、スタンドアローンの評価には下方圧力がかかる。ただ、本経営統合は、住友商事グループのメディア・デジタル事業部門での当社の位置付けを弱めるものではない。住友商事グループの支援の蓋然性を考慮すれば、格付を直ちに見直す必要はないとJCRでは判断している。

(担当) 佐藤 洋介・喜多村 早織

【参考】

発行体：SCSK 株式会社

長期発行体格付：A+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル